

西小は 大きな 家族

Family

～校長のたわいもない独り言・その2～

令和元年 7月 1日 (月) No.19

発行人

昨夜はずっとダゾーン (F1) 見てた川崎先生。興奮した～(^)v

★梅雨ってやだなあ～。ジメジメするこの時期の雑感★

・天気によって子どもたちの元気度が違う。高学年はもう経験豊富なので天候によって言動が左右されないけど、低学年は本当に分かりやすい(^_^)。雨の日など、下向いてトボトボ歩いてくる子の多いこと多いこと。あいさつの声も心なしか元気ない。でもそれわかるなあ。天気悪いと、暗くて、ちょっと肌寒くて、長ぐつは歩きづらくて、なかなか心が前向きになれないんだよね。わかるわかる(って、川崎もそういう時あるある)。晴天の爽やかな日が多いことを望む梅雨の朝のひとコマ。

・やばっ、今朝のジャンケン 1年生に全勝ちしてしまった。あーっ、5年生の女の子たちの視線が・・・(T_T)

・うしっ、次の日には1年生に全敗。不思議とメチャうれしい。あのお～、5年のお姉さま方、これでよろしいでしょうか？

・やばっ、今朝のジャンケンはお母さんに負ける(T_T)

・やばっ、歯医者予約をすっぽかす(T_T)。

・やばっ、久しぶりに飲んだコカ・コーラがうまい(^)v (昔、骨がとけるって言われてましたよね？と、どこまでの年代が知ってるか振ってみる)。

・校門前の松の木。もうずっと前から松ぼっくりがたくさんついている。松ぼっくりって何年もそのままなのだろうか？そんな松の木の下に3年生が大勢集まってくる。何をするのか見ていると、みんなで一斉にジャンプして松ぼっくりを落とすという。どう突っ込んでいいものか？。でもみんな楽しそうに「せえ～の」でジャンプする。さて、どう突っ込んだものか？。お願い、誰か教えて(°_°)

・ある雨の日、中野方面からくるお姉ちゃんと弟。傘をたたんで雨の中を駆けていく弟。あわてて追いかけて傘の中に入れるお姉ちゃん。微笑ましい&ほっこりする瞬間。

・4年生の麦の脱穀。脱穀そのものも「足踏み式脱穀機」などというレトロなマシンを使っている。だいたい麦だって相当マニアックな上、このマシンだ。農業体験と言うより、超貴重なスペシャル体験と言うべきか。しかしこの4年生、見ているとメチャ面白い。大きな桶の周りでおしゃべりしながら選別をしている”井戸端会議女子”。足踏み式脱穀機の回転速度をひたすら追求している”スポ根男子”。〇〇君、こっちきてこれやって～の”仕切り女子”。言われてすぐに集まる”がってん男子”。一つの作業が終わると遠くを見つめている”たそがれ男子”。ひたすら黙って麦の一粒一粒を拾い集めている”コツコツ女子”。次の作業の先を読んですぐに反応する”気が利き女子”。最初から最後まで作業に関わり続ける”素直男子や素直女子”。手が空いている人はシートを畳んで！と声かけると、すぐに5～6人集まってきてやり始めるし、ここのごみ拾って！と言うと”はい、拾います”と言う。作業以外の姿みているだけで楽しくなる。今年の麦の収穫量は非常に多いという。今年はお麦粉でどんな調理をするのだろうか？その時にもまたいろんな姿が見られることだろう。